

明治5年創立



美川小学校コミュニティスクール

～学校と地域・保護者が一体となって
子どもたちの成長を支える～



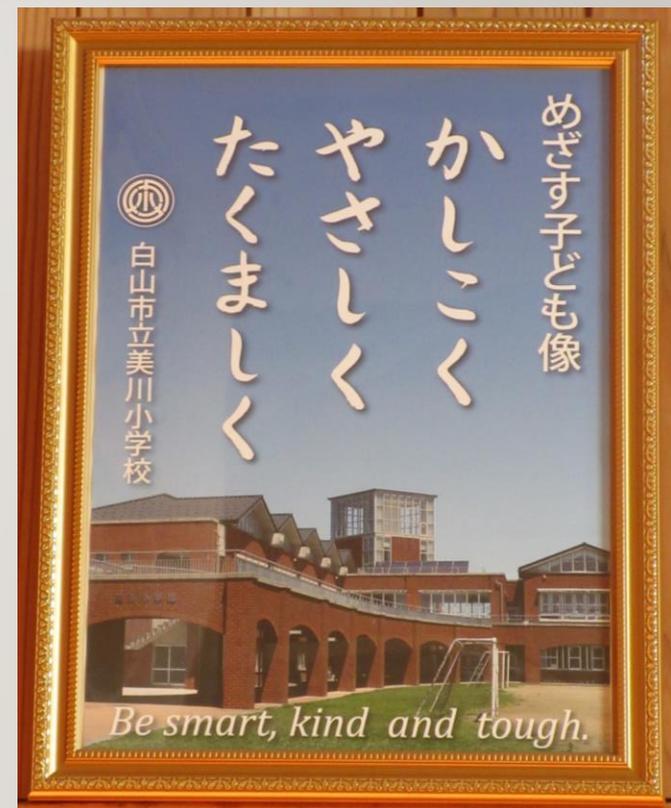
県社会教育委員の会議

令和5年度 石川県社会教育委員の第2回会議で報告

令和5年11月17日

学校教育目標

社会とのつながりの中で
学力そして豊かな心と
からだを育てる



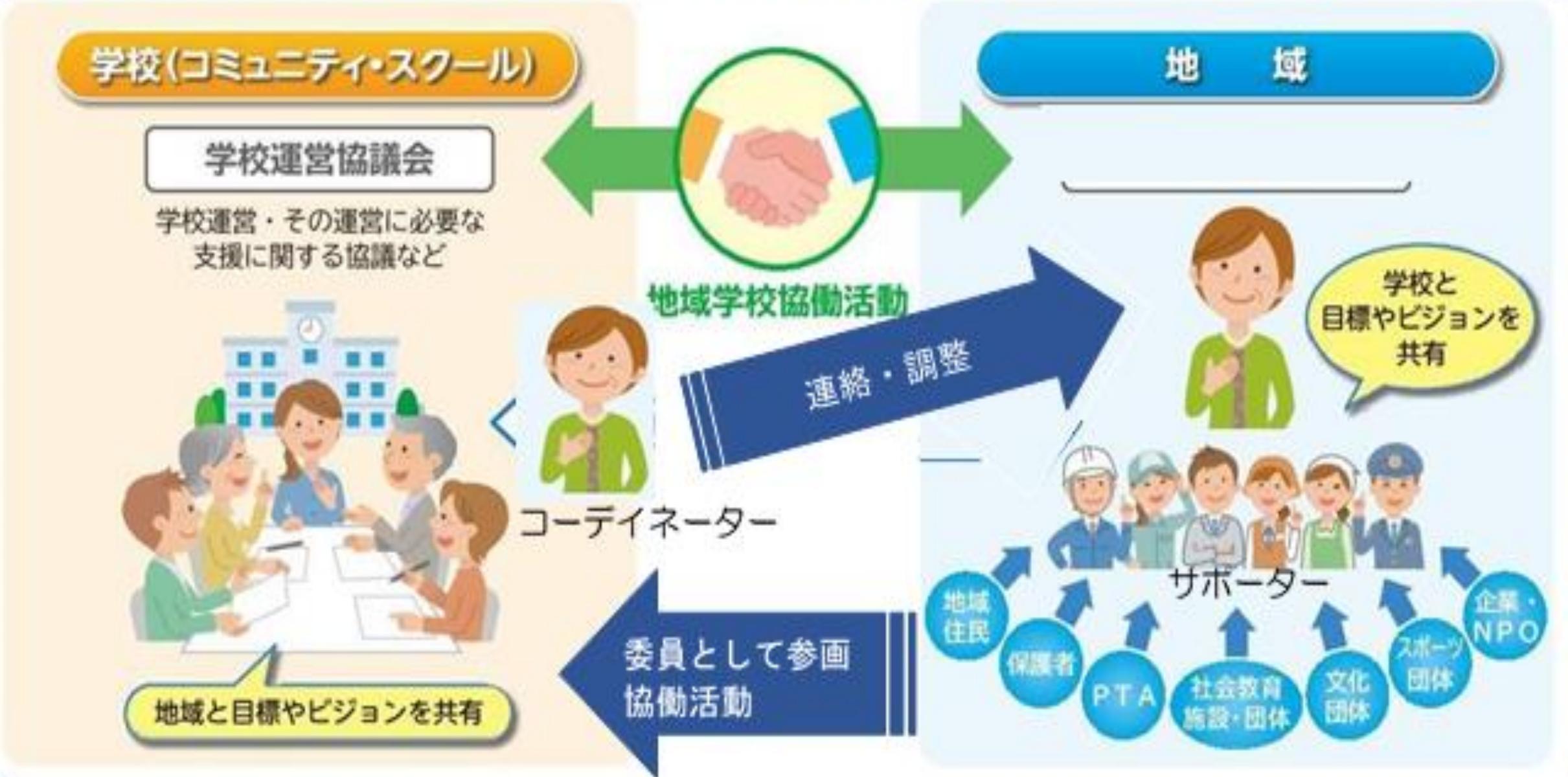
令和4年

コミュニティスクールの導入

- ・学校運営協議会の設置
- ・保護者や地域の方が委員として参画
(委員は校長、教頭を含む10名)
- ・子供たちの成長を、**学校と地域が
一体となって支える**



美川小学校がめざすコミュニティスクール



コミュニティスクールを通して



- 地域に開かれた学校づくり（地域とともにある学校づくり）
- 教員の働き方改革
- 地域社会全体で行う生徒指導⇒問題行動の減少
- 学校だけでは得られない知識の習得や体験
- 地域学習等を通して郷土愛を育み、地域を担う人材の育成
- 自分たちの地域は自分たちで問題解決するという意識の向上

学校

児童

地域

地域住民が学校の応援団として

- ・学習支援・・・田植え、**地域学習**、読み聞かせ
安産川の生き物調べ、家庭科支援
- ・環境整備・・・花づくり、池の管理
プールそうじなど
- ・見守り・・・登下校の安全、あいさつ、水泳など



コーディネーター

地域学校
協働活動

安産川の生き物調べ(3年)



美川の産業じまん(5年)





田植え(5年)

家庭科【ミシンの使い方】(5年)



登下時の安全見守り





おはようボランティア



みかわ未来 プロジェクト 空き家の利用

美川まちづくり協議会
令和5年11月17日

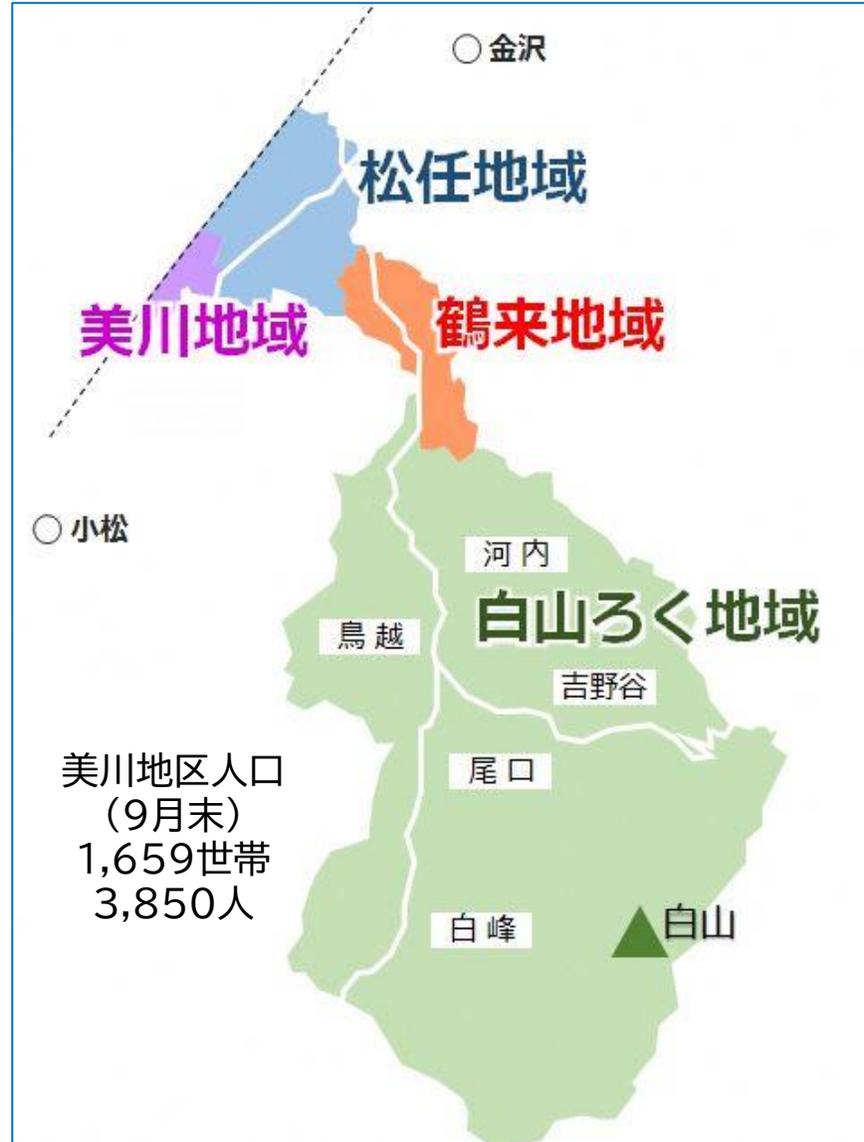
◇白山市の生い立ち

平成17年2月1日、1市2町5村(松任市、美川町、鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村)の合併

◇美川校区の概要

- ・藩政時代末、日本海側有数の北前船根拠地として栄え、明治5年一時石川県庁が美川に置かれる
- ・保護者は学校に信頼を寄せており、教育に非常に熱心
- ・古い歴史と伝統技術を持って作り出す特産品(美川仏壇・美川刺繍・海産物加工品)も有名で美川の誇り
- ・毎年5月に行われる春季祭礼「おかえり祭り」は子ども達はもとより、美川の人々の関心ごとで奇祭として知られている

白山市美川の位置





新しいコミュニティー組織設立に向けて(美川設立準備会) 「第1回みかわ まちづくり カフェ」開催(令和3年12月)

- ・美川の魅力は
- ・美川の強みは
- ・困っていることは
- ・10年後を考えて心配なことは
- ・未来に向けてどんな地域にしたい？

ファシリテーター
篠田隆行准教授
(金沢大学先端科学社会共創
推進機構)



美川地区住民多様な世代参加 美川の魅力、地域資源、課題、意見の聴取



見えてきたこと

空き家が増えている⇒空き家問題

《美川地区の課題》

困った

令和4年3月

美川まちづくり協議会

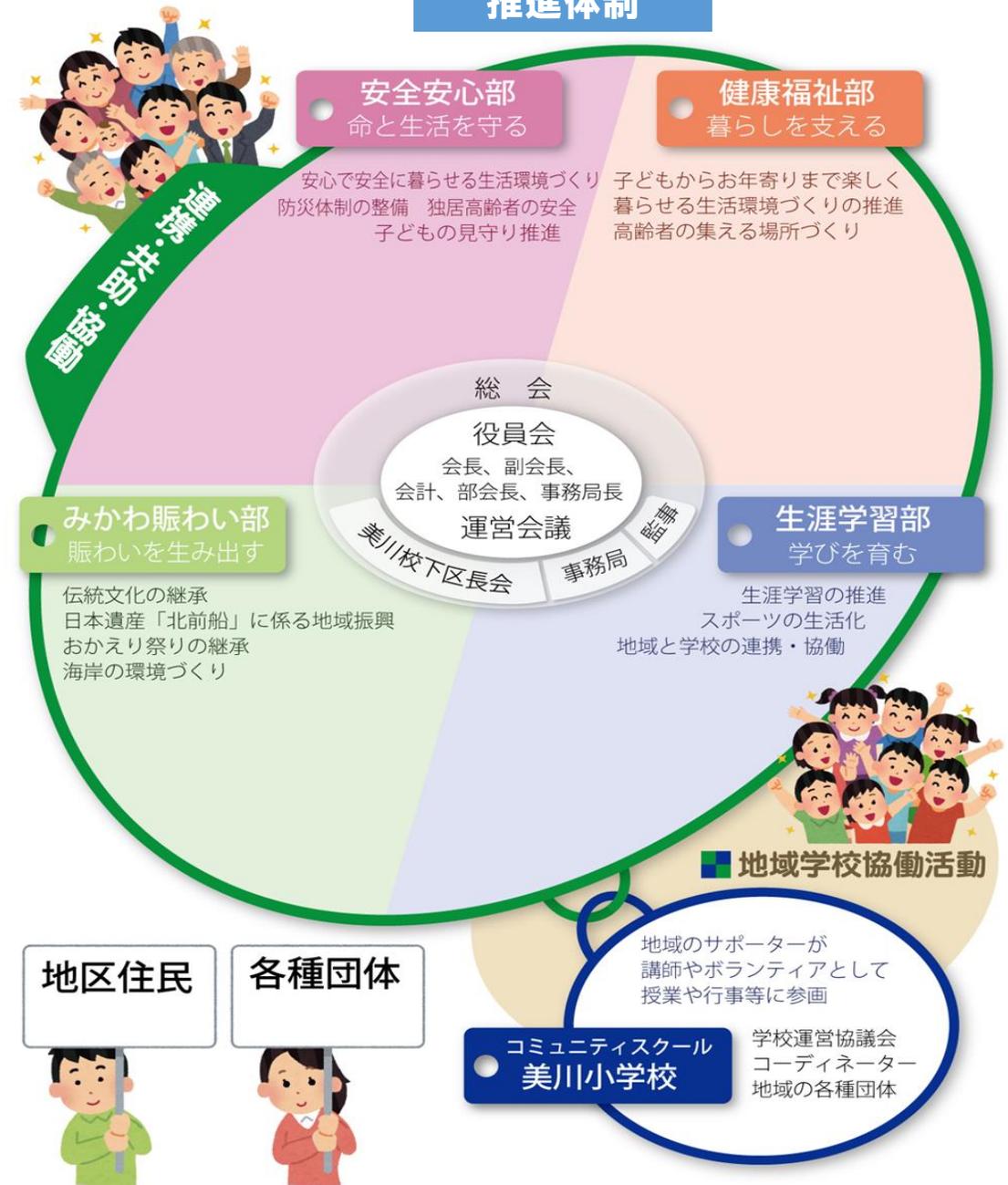
目指す姿

歴史を紡ぎ、学びを育み、
笑顔で永く住み続けられるまち

学びを育むまち
暮らしを支えるまち
賑わいを生み出すまち
命と生活を守るまち

地域の学校と協働するまち

推進体制



美川まちづくり協議会

「空き家」に関する地域課題解決に向けて事業として取り組む

- ・美川の小学生の考えも聞きたい



美川小6年生に地域課題を提起(令和4年6月)

総合的な学習の時間 6年…美川の未来を考える

- ・美川地区の空き家の現状
- ・空き家の活用方法
- ・こんな美川のまちになったらいいな

金沢大学篠田先生が授業に参加

(令和4年7月)

課題解決に対する意識



設立準備会

(令和3年)

第1回みかわまち
づくりカフェ開催

(令和3年12月)



美川まちづくり協
議会設立

(令和4年3月)



美川小コミュニティ
スクールスタート

(令和4年5月)



美川まちづくり協
議会美川小6年生
に課題提起

(令和4年6月)

第2回「みかわ まちづくりカフェ」
6年生中間発表(令和4年12月)



美川小6年生 「空き家活用」提言発表(令和5年1月)

会場 美川小学校ランチルーム(学校公開日)

対象 美川まちづくり協議会 保護者 地区住民 行政関係

内容 進行…金沢大学篠田先生
6年生3グループから提言発表
意見交換

篠田先生から講評とまとめ 校長先生から

美川小コミュニティ
スクールスタート
(令和4年5月)



美川まちづくり協
議会美川小6年生
に課題提起
(令和4年6月)



6年生空き家活用
について取り組む



第2回みかわまち
づくりカフェ開催
(令和4年12月)
6年生中間発表



提言発表
(令和5年1月)

美川小6年生 「空き家活用」提言発表(令和5年1月)



なぜ 美川に足湯&リラックスを造ったの？

①いろいろな人と交流できる

リラックスしながら、足湯に入りながら、いろいろな人と話せて仲良くなるかも！！



②休みたい人もいる

休むという大切さを
知ってほしいから

③美川には足湯がない

温泉はあるけど足湯はないし、めずらしいから

まとめ！

いろいろな人たちとかわれるように足湯&リラックスを提案して、僕たち私たちは美川の町が少しでも栄えるようになって美川の人同士全員が仲良くなれるようにしたいと思いました。



美川の街には活気が足りない！！

美川を活気のある街に！！

空き家を活用して、集中できるカフェを作ろう！！



～集中+カフェ～

こんな町にしたい！

- ・活気のある町
- ・たくさんの人がつどえる町
- ・空き家が無い町
- ・みんなの仲が深まる町
- ・みんなが協力する町
- ・にぎやかな町

どんな町にしたい？



出来た時の効果

- ・美川の観光客が増える。
- ・美川の特色が全国に行くかも！
- ・美川の経済効果が期待できる。
- ・インスタグラムなどのSNSなどの効果も期待できる。
- ・白山の野菜を使った地産地消もできる。
- ・地域の集まるときの候補が増える。
- ・カフェのようなお店があると若者が街に移住者が増えるかも。
- ・空き家を活用した店がある！というのが話題になって空き家を活用したお店が増えるかも！そうすると空き家問題が具体的に解決するかも。



美川小コミュニティ
スクールスタート
(令和4年5月)

↓
美川まちづくり協
議会美川小6年生
に課題提起
(令和4年6月)

↓
6年生空き家活用
について取り組む

↓
第2回みかわまち
づくりカフェ開催
(令和4年12月)
6年生中間発表

↓
提言発表
(令和5年1月)

出来た時の効果

- 美川の観光客が増える。
- 美川の特色が全国に行くかも！
- 美川の経済効果が期待できる。
- インスタグラムなどのSNSなどの効果も期待できる。
- 白山の野菜を使った地産地消もできる。
- 地域の集まるときの候補が増える。
- カフェのようなお店があると若者が街に移住者が増えるかも。
- 空き家を活用した店がある！というのが話題になって空き家を活用したお店が増えるかも！そうすると空き家問題が具体的に解決するかも。



6年生提言 実現に向けて

令和5年度も美川小6年生は、引き続き「空き家問題・活用」に取り組む→昨年度を踏まえさらに探求的な見方を働かせる

「みかわ未来プロジェクト」の立ち上げ

美川への誇りを胸に、大人から子どもまで一丸となって地域の未来を考えることが地域課題解決には重要

提言発表
(令和5年1月)



みかわ未来プロジェクト立ち上げ
(令和5年5月)



美川まちづくり協議会美川小6年生に課題提起
(令和5年6月)



「みかわ未来プロジェクト」構成メンバー

美川まちづくり協議会役員 金沢大学 美川商工会
美川振興会 美川校下区長会 美川女性の会
美川社会福祉協議会 美川小育友会 藤塚神社宮司
美川おかえりの会 不動産会社 建築設計事務所
美川公民館主事 北前船佐渡家 建築会社
美川まちづくり協議会事務局 計16名

月1回程度の会合と研修会の開催

提言発表
(令和5年1月)



みかわ未来プロ
ジェクト立ち上げ
(令和5年5月)



美川まちづくり協
議会美川小6年生
に課題提起
(令和5年6月)

「提案」だけに終わらせるのではなく実現する

「みかわ未来プロジェクト」

美川小6年生の提言を受けて ⇨ 実現させたい

- 空き家の確保

田中家（旧竹多家）無償提供 北前船主の末裔

田中さんの願い…美川の町に誇りをもって歴史ある家を活用してほしい

- 空き家リノベーションに係る費用の確保

補助金 企業とのコラボ クラウドファンディング

- 持続可能な運営と経営母体

NPO法人立ち上げ 企業

- 空き家活用方法の具体検討

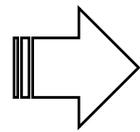


みかわ未来プロジェクトの取り組み 空き家活用イメージ

こんな場所が欲しい…6年生の提言から

室内型多目的広場

ワークショップ
スタディスペース
美大生など展覧会
レンタサイクル



こどもカフェ

蔵カフェ

研修室 特産販売

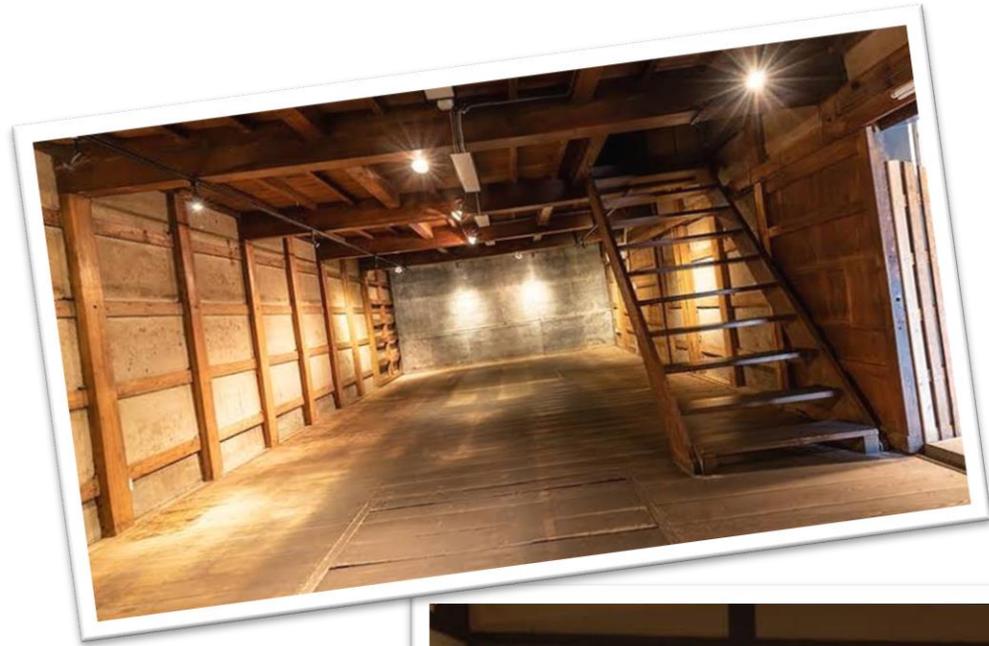
学習室 読書ルーム

絵画 写真展示

庭園 土間



みかわ未来プロジェクトの取り組み 空き家活用イメージ



6年生の授業に、篠田先生と「みかわ未来プロジェクト」のメンバーが参加（令和5年9月）



提言発表
(令和5年1月)



みかわ未来プロジェクト立ち上げ
(令和5年5月)



美川まちづくり協議会美川小6年生に課題提起
(令和5年6月)



金沢大学篠田先生、プロジェクトメンバー6年生の授業に参加
(令和5年9月)

空き家の見学…田中家(旧竹多家)

- ・実際に空き家を見ることで、活用に向けてさらに意識を高める
- ・活用方法について具体的な方法を探る

《美川今町に空き家になっている町屋》

田中家(竹多家)は北前船主・紺屋三郎兵衛を祖とし、その子孫も実業家で活躍した旧竹多家の住まいであり、昭和戦前期の美川区の典型的な町家建築の特徴がある。建築年代は少なくとも明治前期まで遡る。美川の町中に現存する数少ない建物。



田中家(旧竹多家)の活用で美川小6年生の提言を実現

みかわ未来プロジェクト立ち上げ
(令和5年5月)



美川まちづくり協議会美川小6年生に課題提起
(令和5年6月)



金沢大学篠田先生、プロジェクトメンバー6年生の授業に参加
(令和5年9月)



6年生、空き家の町屋見学
(令和5年10月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施過程	1年目									第1回「みかわまちづくりカフェ」開催			美川まちづくり協議会設立
	2年目		美川小コミュニティスクールスタート	協議会が6年生に課題提起	金大篠田准教授、協議会が6年生の授業に参加					第2回「みかわまちづくりカフェ」開催 6年生中間発表	6年生、空き家活用について提言発表		
	3年目		みかわ未来プロジェクト立ち上げ	協議会が6年生に空き家活用提起授業			金大篠田先生が6年生に授業プロジェクトメンバー参加	6年生と篠田先生、空き家の町屋見学	6年生とみかわ未来プロジェクト交流意見交換会	第3回「みかわまちづくりカフェ」開催 6年生中間発表	6年生、空き家活用について提言発表		

企画名 **みかわ未来プロジェクト**

【新規(継続) (3年目)】

笑顔で長く住み続けられるまちをめざして (空き家活用)

目的・テーマ 歴史を紡ぎ、学びを育み、笑顔で長く住み続けられる町

- ・誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる「美川」
- ・安心して暮らし続けるためにともに支え合う「美川」
- ・伝統文化を活かし、他にはない魅力あるまちづくりを目指す「美川」

活かせる地域の資源 (ヒト・モノ・コト)

- ヒト** (住民・団体など)
- ・美川まちづくり協議会
 - ・みかわ未来プロジェクト
 - ・美川小学校6年生
 - ・美川小保護者
 - ・地域住民

- モノ** (施設・特産物・文化財など)
- ・空き家になっている町屋 (田中家旧竹多家)
 - ・ルーツ交流館 佐渡家
 - ・美川小CSと地域学校 協働活動推進

- コト** (歴史・文化・行事など)
- ・美川おかえり祭り
 - ・北前船寄港地・船主集落
 - ・白山手取川ジオパーク (伏流水群、美川漁港)

いしかわ地域づくりシート
【企画シート『コデル』】

- 目的の明確化
 - ・こんな美川にしたい
- 地域課題の捉え
- 人材や資源の活用
- 取り組み内容の見える化
- 実施過程の見える化
- 誰もがわかる評価

予算・財源・資金

	具体的な内容	対象者	スキルアップ	交流	地域の賑わい
取組	・令和3年12月「第1回みかわ まちづくり カフェ」を開催。金沢大学篠田准教授をファシリテーターに、美川地区に住んでいる高校生から高齢者まで幅広い年齢層が参加し、美川の強い所や弱い所、まちづくりに関するワークショップを行う。 (住民から美川の魅力、地域資源、課題、意見の聴取)	地域住民		○	
	・美川小学校6年生が総合的な学習の時間の中で空き家について美川地区の現状を調べ、ふるさと美川の未来を考えた空き家活用に取組む。「第2回みかわまちづくりカフェ」や美川小公開授業日に保護者や地区住民等に対して提案を発表。	6年生協議会 保護者 地域住民 行政	○	○	
	・空き家利用の具現化 例:カフェ、イベント、レンタルスペース、民泊、足湯&リラックスふれあいの場、美川を知ってもらえる場	6年生協議会 保護者 地域住民 行政		○	○

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目									第1回「みかわまちづくりカフェ」開催			美川まちづくり協議会設立
2年目		美川小コミュニティスクールスタート	協議会が6年生に課題提起	金大篠田准教授、協議会が6年生の授業に参加					第2回「みかわまちづくりカフェ」開催 6年生中間発表	6年生、空き家活用について提言発表		
3年目		みかわ未来プロジェクト立ち上げ	協議会が6年生に空き家活用提起授業		金大篠田先生が6年生に授業プロジェクトメンバー参加	6年生と篠田先生、空き家の町屋見学	6年生とみかわ未来プロジェクト交流意見交換会	第3回「みかわまちづくりカフェ」開催 6年生中間発表	6年生、空き家活用について提言発表			

成果指標	項目	評価	[次年度へ向けての改善点]
	(定量評価) … 数値で表せるもの		
(定性評価) … 数値で表しにくいもの			

人と地域のウェルビーイングの実現をめざして

子どもたちが生き生きと育ち、美川を愛し、自分たちの地域は自分たちで作り、問題解決をしていくという意識を育てる。

実現

美川小学校

自分の住むまちを愛する気持ち
郷土の魅力を見つけた時の喜び
きっと人生を豊かなものにして
くれるはず
地元の人が楽しいと思っている
まちに人はくる

美川まちづくり協議会
みかわ未来プロジェクト

企画名 **みかわ未来プロジェクト** 【新規・継続】 (3年目)

笑顔で永く住み続けられるまちをめざして (空き家活用)

目的・テーマ **歴史を紡ぎ、学びを育み、笑顔で永く住み続けられる町**

- ・誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる「美川」
- ・安心して暮らし続けるためにともに支え合う「美川」
- ・伝統文化を活かし、他にはない魅力あるまちづくりを目指す「美川」

活かせる地域の資源 (ヒト・モノ・コト)

ヒト (住民・団体など)

- ・美川まちづくり協議会
- ・みかわ未来プロジェクト
- ・美川小学校6年生
- ・美川小保護者
- ・地域住民



モノ (施設・特産物・文化財など)

- ・空き家になっている町屋 (田中家旧竹多家)
- ・ルーツ交流館 佐渡家
- ・美川小 CS と地域学校 協働活動推進



コト (歴史・文化・行事など)

- ・美川おかえり祭り
- ・北前船寄港地・船主集落
- ・白山手取川ジオパーク (伏流水群、美川漁港)

	具体的な内容	対象者	スキルアップ	交流	地域の賑わい
取組	・令和3年12月「第1回みかわ まちづくり カフェ」を開催。金沢大学篠田准教授をファシリテーターに、美川地区に住んでいる高校生から高齢者まで幅広い年齢層が参加し、美川の強い所や弱い所、まちづくりに関するワークショップを行う。 (住民から美川の魅力、地域資源、課題、意見の聴取)	地域住民		○	
	・美川まちづくり協議会の話し合い(まちづくりカフェ)で、地域の課題として空き家問題に着目。協議会が6年生児童の意見を聞きたいと依頼。美川小学校6年生が、総合的な学習の中で空き家の利活用について考え、「第2回みかわまちづくりカフェ」や美川小公開授業日に保護者や地区住民等に対して提案を発表。	6年生協議会保護者 地域住民 行政	○	○	
	・空き家利用の具現化 例:カフェ、イベント、レンタルスペース、民泊、足湯&リラックスふれあいの場、美川を知ってもらえる場	6年生協議会保護者 地域住民 行政		○	○

実施過程		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年目									第1回「みかわまちづくりカフェ」開催			美川まちづくり協議会設立
	2年目		美川小コミュニティスタート	協議会が6年生に懇話会開催	金大篠田准教授、協議会が6年生の授業に参加					第2回「みかわまちづくりカフェ」開催 6年生中間発表	6年生、空き家活用について調査発表		
	3年目		みかわ未来プロジェクト立ち上げ	協議会が6年生に空き家活用懇話会開催			金大篠田先生が6年生に授業プロジェクトメンバー参加	6年生と藤田先生、空き家の町屋見学	6年生とみかわ未来プロジェクト交流意見交換会	第3回「みかわまちづくりカフェ」開催 6年生中間発表	6年生、空き家活用について調査発表		

成果指標	項目	評価	【次年度へ向けての改善点】
	(定量評価) … 数値で表せるもの		
(定性評価) … 数値で表しにくいもの			



明治5年創立

白山市立美川小学校

「こんなまちにしたいな！
～空き家問題解決プロジェクト～」



空き家問題解決プロジェクト



【学校が期待すること】

社会とのつながり、関わりを通して、一人一人が成長する

⇒みかわ未来プロジェクト、家主、大学の先生、地域住民など

*地域を愛し、誇りに思う心⇔地域の歴史や地域の人々の思いを知る

⇒自分の生き方を考えるきっかけ(キャリア教育)

*地域のために自分たちができることを考え、話し合い、発信する

⇒課題解決力、自己有用感や自己肯定感の向上

空き家問題解決プロジェクト

- ・みんなが使える学習室&スポーツができる場所
- ・みんなが休むことができる場所（カフェ）
- ・勉強する場所や駄菓子屋
- ・公園とカフェと勉強できる場所
- ・年齢関係なく使える場所

空き家を活用して
〇〇〇をつくりたい！

美川を
こんな町に
したい！

- *にぎわいのある美川らしいすてきな町
- *ほっこりできて居場所のある町
- *歩いて行ける距離に楽しめる場所がある町
- *全世代に愛される町
- *年齢関係なくみんなと関われる町

空き家問題解決プロジェクト

プロジェクトメンバー
授業を参観



自分たちの意見を伝える

空き家問題解決プロジェクト

みかわ未来プロジェクトメンバーより

- 自分たちの住む美川のために一生懸命考えてくれて
いることがとてもうれしい❤️
- 「人と人との交流が多い町」
「全世代に愛される町」
「歩いて集える場所がある町」
・・・ 6年生の思いや意見に感動！
素晴らしい！
- 自分たちが子供の頃は美川のことについて考えたこともなかった



***子どもたちのためにも、実現に向けて頑張ろう！**

空き家問題解決プロジェクト

空き家の見学・家主さんと意見交流



美川の町に誇りをもって
歴史ある家を活用してほしい

空き家問題解決プロジェクト

【家主さんへの質問】

- ・築何年ですか？
- ・この家に対する思いは？
- ・残したいものは？
- ・家の前の人通りは？
- ・どんなふうに活用してほしい？
- ・家の中で危ないところは？
- ・どうしてこのプロジェクトに参加しようと思ったのですか？



【感想】

- ・想像していたよりもきれい
- ・思っていたより広い
- ・雨の日でも遊べそう
- ・部屋一つ一つに歴史があり驚いた
- ・自分の家の近くにこんな建物があってうれしい
- ・地域を盛り上げたい

空き家問題解決プロジェクト

児童の変容

- 「今住んでいる地域行事への参加」 … 肯定的回答は県平均なみ
- ▽「地域や社会のために何かをしたい」
- ▽「自分の考えを発表したり話し合ったりすることが好き」
… 肯定的回答は県平均より低い



- ↓
- *地域住民や大学の先生と積極的に交流 自信
 - *地域の課題(未来)に関心を持ち、活発に話し合い 地域愛
 - *相手のことや地域全体のことを考えた発言 地域愛と思いやり
- ⇔ 「全世代に愛される町」「年齢に関係なく関われる町」

(参考例)

【地域の宝】

【ヒト】

- ・ 美川まちづくり協議会
- ・ 美川小6年生
- ・ 地域住民

×

【モノ】

- ・ 空き家になった町屋
- ・ 温泉
- ・ 美川の伏流水

×

【コト】 (課題)

- ・ 少子高齢化
- ・ 一人暮らし
- ・ 世代間交流が希薄化
- ・ 空き家の増加

=

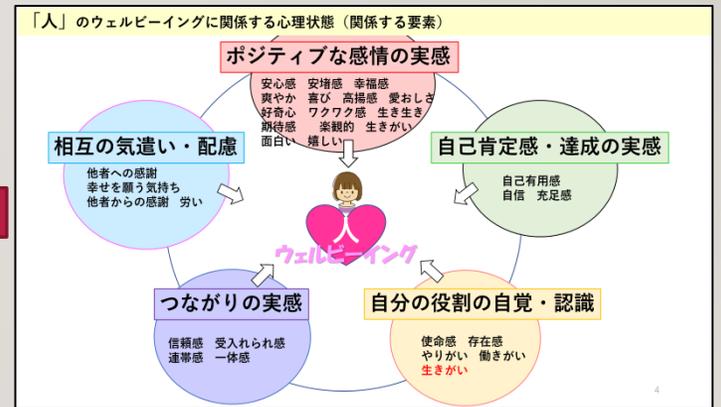
【新しいアイデア】

- 6年生児童から空き家の活用の提案
- ・ カフェにして学習や休憩ができる場所にする
- ・ 地域のコミュニティにする

「〇〇〇」にとってのウェルビーイング (喜び、生きがい、自信等)

【ヒト】

にとっての



二口事務局長の理想の地域

美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

自己肯定感 達成感

地域に根ざした歴史・文化に立脚した新たな方向性(竹上委員)

地域住民とPTA関係者が利他の気持ちを持ち、地域の担い手が増える(中黒委員)

プロジェクトのメンバー、美川小6年生、家主がみんなで考えるコミュニケーションの場になる(奥野委員)

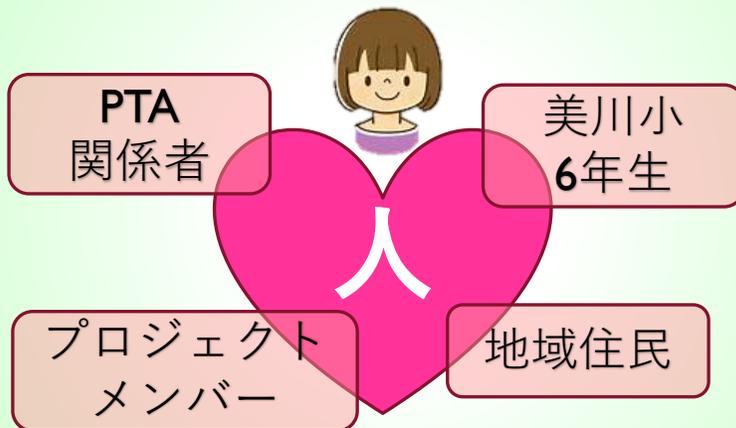
つながり

全若い世代を活かし、地域の担い手をつくる(宮委員)

親として、地域社会の担い手として自らの役割を認識(浅野委員)

ポジティブな 感情

美川小6年生が地域の歴史や人の思いを知り、美川を愛し、誇りに思う気持ちを育てる。自己有用感につながる(清水委員)



「誰の」「どんな」 ウェルビーイングにつながるか

相互の気遣い 配慮

美川小6年生が地域の良さを認識し、地域住民と力をあわせて取り組める(能木場委員)

地域住民が自分の役割を考え、行動につなげる(宇田委員)

自分の役割の 自覚・認識

【質 問】

2. このプロジェクトをとおして、地域と学校が連携することで「人と地域のウェルビーイング」につながるか。



プロジェクトをきっかけに地域と学校の連携が密になり、地域住民との交流やふれあいをとおして、児童に多様な価値観や社会性が育まれ、次代の担い手を育てていく効果がある。

【質 問】

3. このプロジェクトの今後の方向性や可能性について。



子供たちが地域における「意味ある他者」と出会い、共にプロジェクトを進めていくことで、美川の町に誇りをもち、思いやりの心をもった大人へと成長する可能性がある。

また、継続的に地域住民と子供たちが共に学び、地域の魅力について考える機会をつくることで、住民たちが世代を超えて活動できる街づくりに貢献できるのではないか。